

# 光を使った化合物スクリーニング技術

## [技術の概要]

当機構では様々なアッセイ方法の支援を行っているが、特に吸光、蛍光、発光などの光を利用する多検体高速アッセイ法の支援に実績がある。

各種酵素による基質の変化やルシフェラーゼを用いるレポーター遺伝子アッセイ、タンパク質間相互作用検出、細胞内カルシウム濃度変化測定など用途は多岐にわたる。

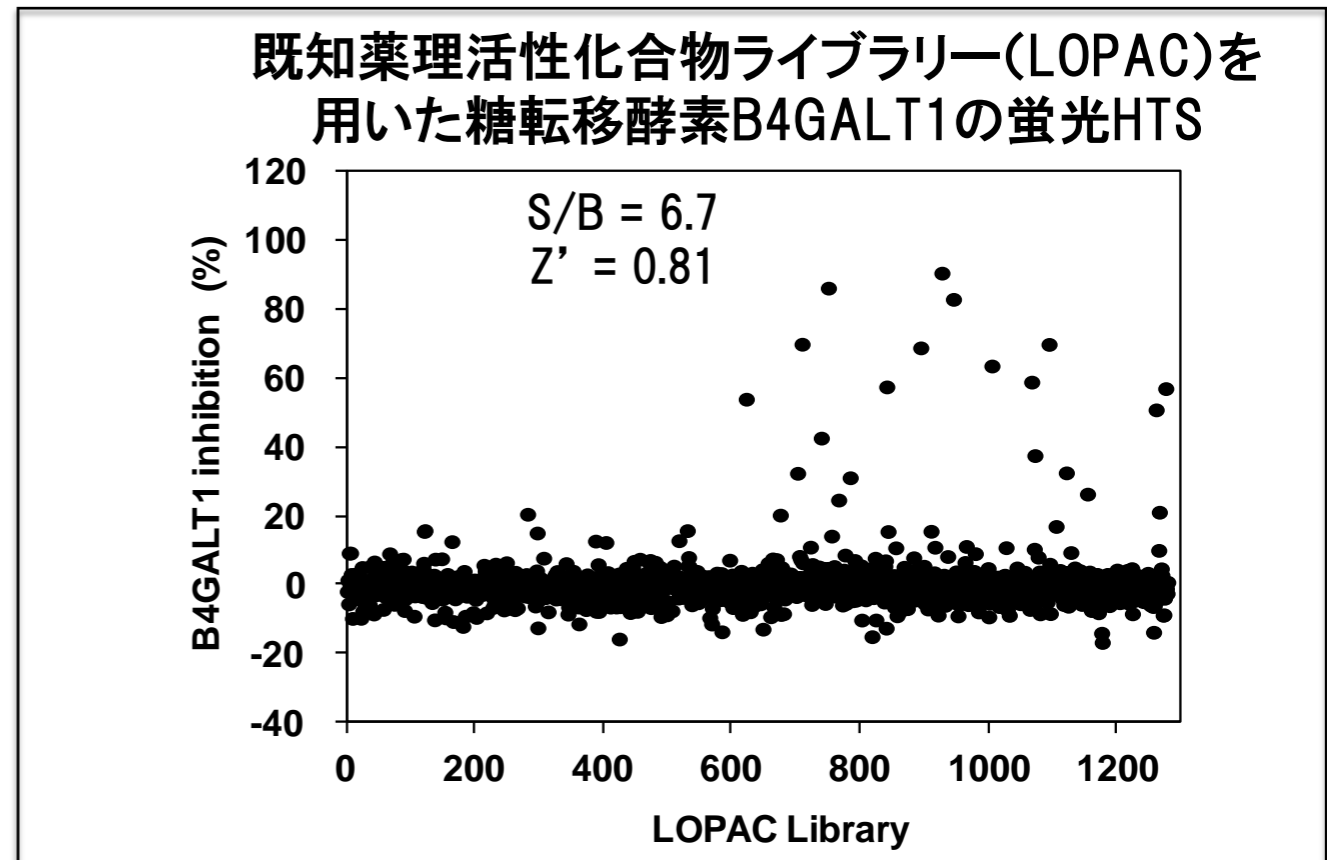
特に、糖転移酵素やキナーゼに関し、低コストで行えるアッセイ方法を開発<sup>※</sup>し、技術提供可能である。

※熊谷ら 和光純薬時報、83(2)、14-17 (2015)

### 利用機器の例:

- プレートスタッカー付のプレートリーダー
- プレートイメージャー (FDSS7000)
- 細胞イメージャー (ArrayScan VTI)
- LabChipシステム (EZ Reader II)

## [技術の利用例]



### 連絡先

[所属] 東京大学創薬機構

[名前] 小島宏建

**化合物ライブラリー** **検索**

<http://www.ddi.u-tokyo.ac.jp/> をご参照下さい